令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域包括支援Ⅰ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習 フィールドワーク
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員が教授している

≪科目目標≫

地域の特性を知り、そこで生活する人とその人を取り巻く地域包括ケアシステムを理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版

ナーシンググラフィカ　在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版

公衆衛生がみえる　メディックメディア

基礎からわかる地域・在宅看護論　照林社

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	瀬戸市の地域特性・統計、	講義
2	2	地域包括ケアシステム：地域包括支援センター	講義
3	2	地域に生活する人を支える制度・社会資源	講義
4	2	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携	講義
5	1	訪問マナー、地区踏査について	講義・演習
6	2	地区踏査①：私たちの身近な地域の特徴	フィールドワーク
7	2	地区踏査②：学びの共有	演習（GW）
8	2	地区踏査③：まとめ	演習（発表）

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域包括支援Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	２学年	単位（時間）	１（１５）	開講時期	２年中期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員が教授している

≪科目目標≫

地域で療養する人と家族の生活を理解し、それを支える看護を学ぶ

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版

ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版

公衆衛生がみえる　メディックメディア

基礎からわかる地域・在宅看護論　照林社

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する。

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	１．在宅療養者と家族の支援 １）在宅看護の対象者 ２）在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件	講義
2	2	３）在宅療養の場における家族のとらえ方	講義
3	2	４）在宅療養者の家族への看護	講義
4	2	２．地域療養を支える制度 １）医療保険制度、難病法、子どもの在宅療養を支える制度と社会資源 ３．在宅療養を支える訪問看護 １）訪問看護の特徴、在宅ケアを支える訪問看護ステーション	講義
5	2		
6	2	２）訪問看護サービスの展開、訪問看護の記録	講義
7	1	４．訪問看護技術 １）家庭訪問、初回訪問	講義
8	2	２）訪問看護の実際	外部講師

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護概論	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	１学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	１年前期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員が教授している

≪科目目標≫

社会背景を理解し、在宅看護の特徴や基盤を学び、在宅療養者の特性と家族のニーズに即した看護を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版

ナーシンググラフィカ　在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版

公衆衛生がみえる　メディックメディア

基礎からわかる地域・在宅看護論　照林社

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	１．在宅看護の概念 １）在宅看護のイメージ	講義
2	2	２）地域・在宅看護の背景、地域・在宅看護の基盤	講義
3	2	３）地域療養を支える在宅看護の役割・機能	講義
4	2	４）地域・在宅看護を展開するための基本理念、地域・在宅看護における倫理	講義
5	2	２．地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護 １）地域包括ケアシステム	講義
6	2	２）療養の場の移行に伴う看護（退院支援・退院調整）	講義
7	1	３）在宅看護におけるケアマネジメント	講義
8	2	４）認知症サポーター養成講座	外部講師

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域･在宅看護の方法Ⅰ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	２学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	２年前期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員が教授している

≪科目目標≫

地域で療養する人の生活から、看護課題を見出して、その人に必要な生活支援について知識・技術を習得する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版
ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版
写真でわかる訪問看護　インターメディカ

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する。

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	看護過程	講義
2	2	安全と健康危機 感染予防	
3	2	災害対策	
4	2	看護技術のアセスメントと援助 ・コミュニケーション ・環境整備 ・福祉用具 ・生活リハビリ	講義（GW）
5	2		
6	2	環境のアセスメントの実際	演習（GW）
7	2	福祉用具　まとめ	演習（GW・発表）
8	2	呼吸・フィジカルアセスメント	講義
9	2	食事のアセスメントと援助	講義
10	2	フレイル予防のアセスメントと援助	講義
11	2	清潔・足病変のアセスメントと援助	講義
12	2	清潔（頭皮・頭髪、足の清潔）の技術	演習
13	2	ベッド上の移動の技術	
14	2	排泄のアセスメントと援助	講義
15	2	ストーマ管理	講義

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護の方法Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	２学年	単位(時間)	１（３０）	開講時期	２年後期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している

≪科目目標≫

地域で療養する人と家族が安心して日常生活を送るために必要な医療処置と支援について知識、技術を習得する

≪成績評価の方法≫

筆記試験

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版

ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版

写真でわかる訪問看護　インターメディカ

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読するとともに、関連動画を視聴する

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	医療ケアの原理原則 医療処置を必要とする療養者の理解（小児・難病）	講義
2	2	排尿ケア（膀胱留置カテーテル）	講義
3	2	在宅経管栄養法	講義
4	2	在宅中心静脈栄養法	講義
5	2	膀胱留置カテーテル演習	演習
6	2		
7	2	在宅酸素療法	講義
8	2	在宅人工呼吸療法（NPPV・TPPV）	講義
9	2	カニューレ管理、排痰ケア	講義
10	2	在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法患者の看護	外部講師
11	2	薬物療法・インスリン自己注射管理・疼痛管理	講義
12	2	がん外来化学療法・在宅 CAPD 管理	講義
13	2	褥瘡管理	講義・演習
14	2	在宅ターミナルケア	講義
15	2	在宅ターミナルケアの実際	外部講師

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護の方法Ⅲ	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	２学年	単位(時間)	１（１５）	開講時期	２年後期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している

≪科目目標≫

地域での療養生活を継続するための、訪問看護の役割と在宅看護の展開方法を理解する

≪成績評価の方法≫

筆記試験・課題レポート

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論①　地域療養を支えるケア　メディカ出版

ナーシング・グラフィカ　地域・在宅看護論②　在宅療養を支える技術　メディカ出版

在宅看護過程　医学書院

≪授業外における学習方法≫

予習・復習はテキスト・関連書籍の該当ページを熟読し、理解を深める

≪履修に当たっての留意点≫

回数	時間数	内　　容	教授方法
1	2	事例①　自己管理が必要な糖尿病のある独居高齢者：移行期	講義
2	2		
3	2	事例②　中途障害による頸髄損傷障害者：安定期	講義
4	2	事例③　地域で生活する重症心身障害児と家族：移行期・安定期	講義
5	2	事例④　在宅で終末期を迎える療養者と家族：終末期	講義
6	2	事例⑤　電子カルテからの情報整理とアセスメント	演習（GW）
7	2		
8	1		

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護論実習Ⅰ	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
対象学年	１学年	単位(時間)	１（４５）	開講時期	１年後期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している

≪科目目標≫

地域の特性と生活の視点から地域で生活するあらゆる年齢の人と支援から地域全体をとらえる力を身につけ、フォーマル・インフォーマルな社会資源について学ぶ。

≪成績評価の方法≫

実習評価表（ルーブリック）に基づき評価する。

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

授業で使用した教科書、資料等

≪授業外における学習方法≫

事前学習、課題学習を行う

≪履修に当たっての留意点≫

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・演習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 **時間数**	１学年後期 合計 45 時間
実習内容	１．地域の特性を理解する ２．地域で生活する人の暮らしとフォーマルな社会資源・インフォーマルな社会資源について理解する ３．実習で体験したことを振り返り、地域で生活する人と暮らしを理解する ４．看護学生として責任ある行動がとれる

令和７年度　授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護論実習Ⅱ	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
対象学年	３学年	単位(時間)	２（９０）	開講時期	３年全期

担当教員：　専任教員　　**実務経験のある教員による授業**　☑

在宅看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している

≪科目目標≫

地域で生活する人に対する地域保健活動と地域で療養する人への看護実践を通して、看護師としての思考力、判断力の基礎的能力を養う。地域包括ケアシステムの一員として看護の役割を理解し、多職種と協働し地域と連携する力を身につける

≪成績評価の方法≫

実習評価表（ルーブリック）に基づき評価する。

≪使用教材（教科書）及び参考図書≫

授業で使用した教科書、資料等

≪授業外における学習方法≫

事前学習、課題学習を行う。

≪履修に当たっての留意点≫

臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・演習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。

実習プログラム

実習期間 **時間数**	３学年 5 月～11 月 合計 90 時間
実習内容	１．地域で生活する人々の健康回復・保持・増進、疾病予防のための地域保健活動を理解する ２．在宅で生活する療養者と家族を生活の主体者として理解する ３．健康障害を持ちながら在宅で生活する療養者への支援を理解する ４．在宅介護の維持・向上に必要な家族に対する生活支援を理解する ５．地域包括ケアシステムの機能について理解する ６．訪問看護のあり方を考察する ７．看護者としての適切な態度を身につける